

『第201回常議員会』

令和3.3.16 於：徳島新聞会館 3Fホール

『臨時議員総会』

令和3.3.26 於：徳島新聞会館 3Fホール

令和2年度臨時議員総会を開催し、下記議案が審議され原案通り承認されました。

- 第1号議案 阿波池田商工会議所定款変更承認の件
- 第2号議案 令和2年度補正予算書(案)承認の件
- 第3号議案 令和3年度事業計画(案)及び収支予算書(案)承認の件
- 第4号議案 定款第39条第1項但し書き事項の常議員会委任承認の件
- 第5号議案 議員変更承認の件
徳島信用金庫池田支店
支店長 相原 良貴 ⇒ 阿部 倫大

報告事項

- (1)「事務局就業規則」改正について
- (2)新規会員加入について
- (3)「池田冬のオブジェ 2020」事業報告について

(4)「第22回四国酒まつり」事業について

(5)「コロナ禍における中小・小規模事業者支援に関する要望書(第4弾)」について

(6)「池田町通行量実態調査」について

(7)「令和3年三好市(緊急支援)持続化補助金」について



総会終了後、以下のテーマによる研修会を開催しました。

【テーマ】「事業再構築補助金」の概要について

【講師】徳島県よろず支援拠点

サブ・チーフコーディネーター

中小企業診断士 佐藤 剛氏

令和3年度 事業計画 基本方針

昨年度は、コロナ禍による外出抑制や施設の休業、営業時間の短縮等の要請と当所における不祥事が相まって、まさしく「自粛」を余儀なくさせられた1年間でありましたが、令和3年度においては、こういう時だからこそ与えられた状況下での当所の役割や存在意義を改めて見つめ直し、実効性のある事業を着実に進めて参ります。

〈行政に対する陳情・要望〉

地方の中小企業・小規模事業者において、コロナ禍の影響は計り知れないものがありました。今後におきましても事業者(特に、飲食・旅行・宿泊業)に対しての補填策、若しくはウィズコロナ・アフターコロナを見据えた支援策を会員事業者の皆様のご意見を参考にしながら、幾度となく陳情・要望を繰り返す所存であります。

〈持続可能な成長戦略〉

全国の地方における人口減少は、経済活力の低下を招き、企業活力は削がれ、やがては事業の継続が困難となり、廃業や事業所数の減少へと繋がって参ります。当所は中小企業・小規模事業者の皆様と共にSDGs(持続可能な開発目標)と連携する「Society5.0」(デジタル革新(DX)と多様な人々の想像力・創造力の融合によって価値創造と課題解決を図り、自ら創造していく社会)やこれを原動力とする地方創生、強靱かつ環境にやさしい魅力的なまちづくり等の推進に果敢に取り組んで参ります。

〈新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急経営支援の実現に向けた対応〉

また、喫緊の課題として「新型コロナウイルスの感染拡大」という難題に起因する経済の急激な冷え込みに対応するため、国や県、市、各種金融機関及びこれら関連機関等と連携して事業者を最前線で支える当所は、引き続き緊急経済対策関連情報の収集と会員の皆様への迅速な発信に努めるとともにその支援体制の充実を図って参ります。

〈働き方改革、人手不足、事業承継等の課題に関する対応〉

事業承継の促進が地域経済の発展において極めて重要な課題となってきております。当所は、事業者にとって「最も身近な支援機関」として、窓口相談だけでなく職員が事業者のところに直接訪問し、きめ細やかな対応をする巡回相談等により、「伴走型の濃密な支援」を展開することで、その役割を着実に果たして参ります。

〈地方創生を実現するための連携の強化〉

現在、三好市は、都市部から地方への新たな人の流れを生み出す人手不足解消策として、地域全体の仕事を組み合わせる年間を通じた仕事を創出し、UIJターン等と呼び込む「特定地域づくり事業協同組合」の設立に向け、県や国と緊密に連携しながらその作業を進めておりますが、今後におきましても当所は、中小企業・小規模事業者の活動の場である地域全体の活性化に向け、地域における連携支援のコーディネーターとして、農商工連携や観光振興、まちづくりなどにも積極的に関わるなど、地方創生の実現に向け、中心的な役割を果たして参ります。

重点事業

- (1) 「中小・小規模事業者に対する伴走型支援の強化」
- ① コロナ感染対策の上での各種会員交流会の随時開催
 - ② 小規模事業者伴走型支援事業の積極的推進
 - ③ 小規模事業者の販路開拓等への取り組み支援
 - ④ オンラインワン補助金事業の復活とその活用
 - ⑤ 働き方改革への対応支援
 - ⑥ 円滑な事業承継の促進支援
 - ⑦ 「新型コロナウイルス感染拡大」による経営不振から事業者を救う各種経済支援策等の情報収集・情報提供及び対応支援
 - ⑧ 「小規模事業者の事業継続力強化」の取り組み支援
 - ⑨ 「特定地域づくり事業協同組合」との連携
- (2) 「商工会議所組織の機能強化」
- ① 会員事業所への巡回指導の実施
 - ② 提案型の経営支援・巡回訪問の推進強化
 - ③ 税務申告の指導推進
- (3) 「地方創生に向けた「実現する力」の強化・拡充」
- ① 要望・提言活動の質・量ともに強化
 - ② 多様な会員交流組織の形成
 - ③ 農商工連携や観光振興、まちづくりなどへの参画
 - ④ 商工会との連携含め、広域的な商工会議所活動への取り組み
 - ⑤ 商工会議所活動の広報強化
 - ⑥ 「まちなか観光地化」推進による「池田のまちなか」振興への取り組み
- (4) 「地域総合経済団体としての基盤強化」
- ① 会員増強による組織基盤の強化
 - ② 共済制度への加入推進等による財政基盤の強化
 - ③ 事務局職員の意識改革と能力開発
 - ④ 産業構造の変化等に即した部会運営

令和3年度 総括予算書

自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

〈収入の部〉

【単位：千円】

科目	一般会計	相談所 特別会計	収益事業 特別会計	特商負担金 特別会計	退職給与資金 積立特別会計	財政調整資金 積立特別会計	合計	前年度当初 予算合計額	対前年比
会費	7,900						7,900	7,900	0
事業収入	4,240	500	10,062				14,802	14,752	50
交付金	5,830	21,176					27,006	30,271	▲3,265
雑収入	1,700	400	10				2,110	2,110	0
繰入金	3,195	8,600			960		12,755	14,600	▲1,845
負担金 収入				209			209	220	▲11
全国共済 会運営益					70		70	0	70
前期 繰越金	27,050	1,123	159	1	57,527	26,711	112,571	23,998	88,573
合計	49,915	31,799	10,231	210	58,557	26,711	177,423	93,851	83,572

〈支出の部〉

【単位：千円】

科目	一般会計	相談所 特別会計	収益事業 特別会計	特商負担金 特別会計	退職給与資金 積立特別会計	財政調整資金 積立特別会計	合計	前年度当初 予算合計額	対前年比
事業費	2,180	960	400	10			3,550	3,476	74
給与費 (手当含)	10,377	24,719					35,096	37,963	▲2,867
福利 厚生費	1,850	4,200					6,050	6,700	▲650
旅費	100	160	35				295	345	▲50
事務費	3,410	215	345	4			3,974	3,374	600
会議費	500						500	500	0
渉外費	100						100	100	0
公課 分担金	800						800	800	0
繰出金	2,300	960	9,300	195			12,755	16,400	▲3,645
その他 の支出	170		1				171	101	70
予備費	28,128	585	150	1	58,557	26,711	114,132	24,092	90,040
合計	49,915	31,799	10,231	210	58,557	26,711	177,423	93,851	83,572

委員会報告

にぎわい創出・交流委員会

- 第3回委員会 令和3年1月27日(水) 19:00～
- 第4回委員会 令和3年3月3日(水) 19:00～
・ 地域振興、まちなかの賑わいづくりについて協議
- 新山八十八ヶ所現地視察 令和3年4月6日(火)
・ 池田町シヤヤマにある「新四国霊場八十八ヶ所」のウォーキングコースを現地視察及び意見交換

日本商工会議所会頭表彰 受賞

阿波池田商工会議所役員・議員として二十年の永きにわたり、地域経済の振興に多大な功労をいただき、以下5名の役員・議員の皆様が日本商工会議所より表彰状を受賞されました。

議員(顧問) 真鍋和二郎 様 (20年)
副会頭 中村 盛彦 様 (20年)
副会頭 谷 尚美 様 (20年)
常議員 森脇 忠利 様 (20年)
議員 木下 善之 様 (20年)

～皆様、おめでとうございます～

コロナ禍における中小・小規模事業者への支援に関する要望

新型コロナウイルスの猛威は、冬季に入り急速に拡大し第3波へととなり、GOTOトラベルの一時中止や11都府県への「緊急事態宣言」の再発令等の事態に至りました。その結果、飲食業や宿泊業、旅客運送業に留まらず、次第に裾野へと広がり中小・小規模事業者への経済的・精神的打撃は一層深刻なものへと、また、「事業継続に対する意欲減退」も、日増しに大きなものへとなっております。

このような状況に鑑みまして、全会員の皆様を対象に3回目となります「アンケート」を実施し、現状の再確認をさせて頂きましたが、「事業継続への見切り」や「直接的な各種給付金の再給付」等々、切実な意見が多数寄せられました。これらご意見を踏まえ2月18日、三好市(三好市長及び三好市議会議長)に対し、第4弾となる要望活動(3項目)を行いました。

1点目は、「休業補償に加え前向きな雇用の流動的創出を支援」ということで、具体的に、現行の休業補償的な「雇用維持助成金」に加え、労働力の流動性を高め、実際に働き給与を減らさない前向きな「新規雇入れ」(出向・副業を含む。)を行った事業者に対しても一時金を創設していただきたいというものです。2点目としては、「事業継続のための融資実施事業者に対する給付の実施」として、徳島県中小企業融資制度の増額となっ

たタイミングに合わせ、今回は徳島県が行っていた融資額の一部給付を、今回は市から給付をして欲しいというもの。3点目は、「全市民を対象としたシンプルな消費喚起策の実施」ということで、利用者にとっても一番シンプルでかつ市民が等しく恩恵を被る消費喚起策として、三好市商工会及び阿波池田商工会議所会員事業所限定の商品券を一律に、三好市民に対して配布していただきたいというものです。

これらの要望は、部分的ではありますが、この度の「三好市雇用維持助成金」制度や「令和3年度三好市＜緊急支援＞持続化給付金」制度等の創設へと繋がっております。また、今後におきましても三好市が実施する中小・小規模事業者の皆様への「新たな支援策」に少なからず反映して頂けるものと考えております。

今年度におきましても、会員の皆様のご意見やご要望を可能な限り吸い上げ、商工会議所事業として第一番目に掲げられている行政庁等への「具申・建議」である要望活動を行って参りたいと考えております。ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



「第22回四国酒まつり」開催報告

四国酒まつりは、平成12年スタート以来、この地域の特徴である「地酒のまち」を全国的にPRすると共に、交流人口の流入拡大による市街地の賑わい創出や地域経済の活性化に寄与して参りました。その間、三好市における「地酒で乾杯を推進する条例」の制定や、JR四国・旅行会社・各マスメディアによる様々な企画や宣伝の効果もあり地酒試飲会場やまちなかでの各種協賛企業・団体の皆様のイベント会場等において約28,000人の参加来場者を受け入れるまでに成長いたしました。

しかし、令和2年になってからの新型コロナウイルスの急激な感染拡大の影響により前回の第21回四国酒まつりは急遽中止することを余儀なくされ、三好市内外の関係団体、四国内の各酒蔵様に対し、多大なご心配とご迷惑をお掛けいたしました。

このような事態を受け今回の第22回四国酒まつりは、万全の感染対策を取りつつ以前のような開催に向け熟考しましたが、依然新型コロナウイルスの感染状況の見通しが立たない現状を考え、今回も全国各地からの不特定多数の集客を目的とした開催方法では困難であるとの結論に至り、従来方式での開催は中止をいたしました。

このような状況下での開催方法として今回は、今後の四国酒まつりの継続のために、これまで酒まつりを支えてくださった来場者の方々に、次回開催に向けての情報発信をしていくことと、現在新型コロナウイルス感染症の影響で、厳しい経営状況にある地元酒蔵をはじめ三好市内の各種事業所、併せて四国内各酒蔵の支援も行うことを目的に、WEBサイトによる四国酒

まつりへの支援金を募り、支援者への返礼品として、三好市内の日本酒や地元特産品、四国内の日本酒を送付する手法を採用しました。

その結果、支援者数は350人となり、予想をはるかに超える多くの方々のご支援を賜り、改めて大勢の皆さまに支えて頂いていたことを痛感いたしました。

併せて、「四国酒まつり」の記念映像を制作して配信し、参加者が三好市に集まることなく、全国各地で四国酒まつりを体感してもらい、三好市の情報発信と、次回開催に向け改めて四国酒まつりの存在をお知らせすることができました。

次回開催は、万全の準備を整えて会場にて皆さまをお迎えできることを願い、再び三好市内に賑わいをもたらせるようにして参りたいと思います。

【事業内容】

①WEBサイト(CAMPFIRE)に「四国酒まつり」の情報ページを掲載してその中で四国内の清酒のセットアイテムを公開して支援金を募り、この支援金の返礼品として、地元酒蔵、四国内酒蔵の日本酒を実行委員会で購入し、これに地元特産品などを付加し申込者へ送付。

②オンラインでの「四国酒まつり」の記念映像を制作。

- ・配信は、池田ケーブルネットワークYouTubeチャンネルで配信。

- ・三好市内で、池田ケーブルネットワークの番組で同映像を放送。

- ・配信開始：令和3年3月6日(土)から約1ヶ月

青年部だより

「ご入学おめでとう!!」 短冊掲示!!

本年は初の試みとして、新学期の季節、ご入学する子供たちを祝福してあげよう!と短冊を作成致しました。まずは青年部メンバーの店舗・事務所に短冊を掲示し、ご入学をお祝いしております。



事業研修委員会による

「業界よもやま話!第7弾」実施!

去る1月26日(火)会議所に於いて、メンバー講師による、知っているようで知らなかった職務内容、ちょっと聞いてみたかった疑問、何でも有りの座談会 第7弾を開催致しました。理事 池尻英三朗氏(株祖谷生コン)が講師となり、生コンの歴史から実績、今後の展望等お話いただき、多くの質問がよせられ有意義な情報交換となりました。



女性会だより

只今会員募集中

商工会議所女性会は、女性の力で地域を元気にするために作られた団体です。

私たちと一緒に、女性の特質を活かし「おもてなしの心」で地域を盛り上げましょう。

入会条件 商工会議所会員事業所の女性経営者・経営者夫人・女性管理職等の方。

入会金 なし

年会費 3,000円

入会申込・お問い合わせ 阿波池田商工会議所女性会事務局

まちおこしキャラクター『つたはーん』通信!!

◆1月30日(土) JR観光列車お出迎え(阿波池田駅)

◆2月13日(土) JR観光列車お出迎え(阿波池田駅)

◆2月15日(月) 阿波池田郵便局「年賀はがき展示会」
(2/15～4/6三好郡・市郵便局)

◆3月15日(月) 阿波池田郵便局「あの春、あの夏の池高野球部展」初日セレモニー

◆3月27日(土) JR観光列車お出迎え(阿波池田駅)

3月19日、つたはーんは、7年目を迎えました。コロナ禍で大変な日々がまだまだ続きますが、一日も早くコロナが収束して、元気な皆さんと会えることを願います。



池田町通行量実態調査

池田町商工業の活性化策を推進するにあたり、中心商店街をはじめ、町内での消費者動向や、交通アクセス等の現状と推移を継続的に分析する基礎資料の収集を目的に、中心商店街をはじめ、町内8地点において通行量実態調査を実施した。

- 実施日 ① 令和2年11月15日(日)
② 令和2年11月18日(水)
- 実施時間 午前7時30分～午後7時30分(12時間)
- 実施内容 ① 30分毎に実数集計し、連続12時間観測。
② 歩行者・車輦(乗用車、貨物車、バス、二輪車に分類して測定)別にそれぞれ両方向の通行量を測定。

調査結果の概要は、歩行者通行量は、平日では学生を中心とした駅利用者や通勤者の朝の通勤時間帯において、駅前通り、大通りでの通行量が多くなっている。栄町通りは一日を通して微増傾向にあり、銀座通りも若干ではあるが、前年比で増加している。

休日の通行量は、平日比では全調査地点減少しており、駅前通り、銀座通りは50%以下となっている。平均比率は58%で、前年比では5%程度増加している。

栄町通り周辺は、平日と休日比率は90%程度であり、休日の通行量は調査地点の中で最も多い結果となっている。

る。

歩行者通行量の推移は、昭和53年の通行量と比較すると、平成24年までは平日、日曜日とも全調査地点で急激に減少しており、特に日曜日の通行量の数値の比較では、全ての地点で10%以下の数値となり平均でも9%となっている。但し、平成24年以降の通行量は、特に栄町では毎年微増し、その他の通りでも横這い状態で推移している。

車輦通行量は、平日は栄町通りが約5,560台、大通りが約4,630台、駅前通りが約1,930台で、前年比ではやや減少している。銀座通りは約600台で、ほぼ横這い状態である。

休日の通行量は、全調査地点で平日より減少し、全体での比率は約72%となっている。但し、栄町は比率は約89%で通行量も約5,000台通行しており、毎年増加傾向である。

昭和53年からの車両通行量の推移は、昭和60年以降は各地点で減少傾向にあったが、平成19年調査時から、各通りで微増か減少幅も少なくなってきたり、前回調査時からほぼ同様の通行量となっている。

なかでも栄町通りは、平日休日とも大幅に増加してきており、平成19年と本年との比率は平日は約2倍、休日では約300%の増加となっている。

商店街通り別通行量の推移

歩行者			S53年	S57年	S60年	H7年	H19年	H24年	H30年	R2年	前回比(%)
駅前通り	平日		4,413	3,948	3,369	2,080	904	611	592	575	97.1
	休日		3,526	3,555	2,666	1,327	428	294	300	315	105.0
銀座通り	平日		3,748	2,588	1,724	1,234	373	281	266	314	118.0
	休日		2,553	2,253	1,468	817	207	160	137	136	99.3
大通り	平日		1,499	1,221	948	508	280	209	163	178	109.2
	休日		1,459	1,226	785	260	86	121	67	91	135.8
栄町通り	平日		1,928	1,097	1,158	491	355	472	563	480	85.3
	休日		1,363	949	965	286	218	265	318	430	135.2
合計	平日		11,588	8,854	7,199	4,313	1,912	1,573	1,584	1,547	97.7
	休日		8,901	7,983	5,884	2,690	939	840	822	972	118.2

車輦			S53年	S57年	S60年	H7年	H19年	H24年	H30年	R2年	前回比(%)
駅前通り	平日		4,667	4,453	4,926	3,958	2,829	2,534	2,289	1,930	84.3
	休日		3,817	3,756	3,916	2,727	1,698	1,554	1,414	1,247	88.2
銀座通り	平日		—	—	2,045	1,392	1,230	872	746	601	80.6
	休日		—	—	1,240	806	597	439	365	290	79.5
大通り	平日		5,452	7,801	8,473	7,858	6,379	5,779	4,753	4,625	97.3
	休日		4,934	6,027	6,197	6,000	3,952	3,828	3,111	3,256	104.7
栄町通り	平日		4,075	3,688	3,921	3,505	2,934	4,761	5,867	5,567	94.9
	休日		3,192	2,980	2,845	2,117	1,652	3,911	4,998	4,934	98.7
合計	平日		14,194	15,942	19,365	16,713	13,372	13,946	13,655	12,723	93.2
	休日		11,943	12,763	14,198	11,650	7,899	9,732	9,888	9,727	98.4

※歩行者通行量、車輦通行量とも、各通りの調査地点の平均値を計上している。

簿記検定のお知らせ

簿記は、企業の経営活動を記録・計算・整理して、経営成績と財政状況を明らかにする技能です。企業の活動を適切、かつ正確に情報公開するとともに、経営管理能力を身につけるために、簿記は必須の知識です。

施行日 令和3年 **6月13日(日)**

1・3級 午前9時～

2級 午後1時30分～

場 所 **阿波池田商工会議所**

受験料(税込) **1級** 7,850円

2級 4,720円

3級 2,850円

申込締切 5月14日(金)

◆お問い合わせ・お申込み◆

阿波池田商工会議所 TEL (0883) 72-0143

【令和3年度 簿記検定スケジュール】

- 11月21日(日) 1～3級
- 2月27日(日) 2～3級

労働保険の事務委託は ～商工会議所のご利用を～

労働者を一人でも雇用する事業主は、業種を問わず労働保険に加入しなければなりません。

当所は、労働保険(雇用保険・労災保険)の事務処理を受託できる労働保険事務組合の認可を得ています。

事業主の特別加入制度も利用できます。年度更新の4月からの委託が便利です。是非、お問合せ下さい。



全国健康保険協会(協会けんぽ) 徳島支部の加入者・事業主の皆さまへ

令和3年3月分(4月納付分)からの 全国健康保険協会徳島支部の 保険料率についてお知らせします

徳島支部の**健康保険料率**、**介護保険料率**につきましては、以下のとおりとなります。厳しい経済状況の中ではありますが、加入者の皆さまの医療と健康を支えるため、このようなご負担となることにつきまして、何とぞご理解をいただきますようお願い申し上げます。

令和3年2月分 (3月納付分) まで	10.28%	健康保険料率 (-0.02%)	10.29% (引上げ)	令和3年3月分 (4月納付分) から
令和3年2月分 (3月納付分) まで	1.79%	介護保険料率 全国一律 (+0.06%)	1.80% (引上げ)	令和3年3月分 (4月納付分) から

※ 40歳から64歳までの方(介護保険第2号被保険者)には、健康保険料率に全国一律の介護保険料率が加わります。
 ※ 賞与については、3月1日以降の支給分から変更後の保険料率が適用されます。
 ※ 令和3年度の都道府県ごとの健康保険料率は、地域の加入者の皆さまの医療費に基づいて算出されています。

専門家による経営相談のお知らせ

阿波池田商工会議所に専門家をお招きし、各種相談会を開催中です。相談は無料ですが、予約が必要ですので、事前にご連絡ください。

- ・ 徳島県よろず支援拠点 出張経営相談・・・毎月第1・第3水曜日 10:00～16:00
- ・ 社会保険労務士 出張相談・・・適時申込受付します。
- ・ 徳島県事業承継・引継ぎ支援センター 事業承継相談(常設)・・・平日 8:30～17:00

リレー執筆

三好市に来て5年、 今思うこと

文化と和菓子
國金 有美



お菓子と共にゆっくりとお茶を飲む時間は、人を笑顔にしてくれます。生活にどうしても必要なものではないのかもしれないけれど、それによってほんの少し、心にゆとりが生まれるのではないのでしょうか。

お客様にそういった時間を過ごしていただければと、1年半程前、池田町で「マチのいえ」を始めました。喫茶営業を中心に、和菓子の受注販売も行っていきます。

喫茶では、季節ごとの和菓子と共に、抹茶や珈琲、三好市内で大切に育てられたお茶（煎茶や番茶、和紅茶など）を提供しています。お茶は、市外から来られたお客様だけでなく、地元の方にも好評で、その美味しさを改めて感じていただけることは大変嬉しく、やりがいを感じています。

私は、中学生の頃に習い始めた茶道をきっかけに和菓子に心惹かれ、その道を志すようになりました。その後、東京の製菓専門学校和菓子科に進学し、京都、徳島市と、三

好市地域おこし協力隊としてこの地に来るまでの間、和菓子店に勤めていました。私が思う和菓子の魅力は、何といたっても季節を感じられるところ。また、和菓子は五感の芸術とも言われます。見た目の美しさや味、食感、素材のほのかな香り。あと一つ、耳からは、俳句の季語を思わせるような「菓銘」を聞き、そこからイメージをして楽しむということです。例えば、これから5月になると「薫風（くんぷう）」という菓銘の和菓子を見かけるようになります。「薫風」とは、初夏の若葉の香りを含んだ穏やかな風。風という形のないものの表現から、作り手の感性、お客様の感性で自由にイメージを膨らませられる楽しさがあります。

細やかな季節の移り変わりを感じられるこの地で生活をする中で、このような和菓子の持つ文化的な背景や魅力をより一層実感するようになり、それを伝えていくことができると考えています。

自身の仕事である和菓子とお茶を通して、たくさんの方々との出会い、喜んでいただけることを幸せに思います。応援し、見守ってくださる皆様に心から感謝しております。これからも、どうぞよろしく願いいたします。

つづいて！

新入会員のご紹介 ～敬称略・入会順～

〈事業所名〉	〈代表者〉	〈所在地〉	〈業 種〉
スナック ひとみ	齊藤 仁美	池田町サラダ 1803-4	飲食業
味処 としちゃん	山本 年子	池田町サラダ 1664-4	飲食業
駒倉自動車	駒倉 正夫	池田町佐野森常 465-1	自動車修理業
民芸一貫張	番中 学	池田町州津中津 1890-4	民芸品製造卸
シークレットラブ	三好 由佳	池田町サラダ 1726-1	飲食業
カラオケ KING	富永 幸子	東みよし町昼間 3324-1	カラオケ喫茶

～ ご入会ありがとうございました ～

編集だより

新型コロナウイルスが、本県で初めて発生（R2/2/25）して、約1年2ヶ月が経過しますが二度目の「非常事態宣言」解除後、感染者数は増加に転じ、「第4波到来」も現実のものへと参りました。

この間、当所の運営も事務局を務める「第21回四国酒まつり」の中止に始まり、第1回の県連専務理事会や青年部・女性会の総会、「みよし地域しごと対策協議会」の総会等が書面決議となり、また、徳島商工会議所議員大会に加え共催団体や事務局となる「三好市新規学卒就職者歓迎式」や「えびす祭り」、「合同就職面接会」、「四国酒まつり秋の陣」等々もことごとく中止となっております。

コロナ禍の下、会議所運営や地域振興のための各種事業についても、大きな制約を受けておりますが、厳しい局面を強いられる会員事業者の皆様へのご支援のため、当所としては、三好市に対し単独で4回、県や国に対しても連名で複数回、事業所支援の要望活動を行い、一定の成果へと繋げるとともに補助金申請に関しては、三好市助成金：131件、県Withコロナ助成金：220件、県飲食応援金：33団体、国持続化給付金・家賃給付金：100件、他に金

融相談や経営相談、税務相談等を含め3,500件を超えるご支援をさせて頂いております。

また、地域振興事業として「池田冬のオブジェ 2020」では、オープニングイベント等に代えコロナに負けずに頑張っている人たちへの応援イベントを、「第22回四国酒まつり」についても「まつりの灯」を絶やさず、厳しい状況の四国の酒蔵を応援するため、WEB開催を実施しております。さらに、若い世代にふるさとの企業を知って頂くため、地元の高校生を対象に「出前授業」（4回実施、8社、125名の生徒が参加）や中学生に対する「職場体験学習」を実施（8機関、43名の生徒が参加）、会員企業価値を高めるための「先進事業所視察」や「会員向けセミナーの開催」等にも取り組んでおります。

今後におきましても、こういう時だからこそ、与えられた状況下での当所の存在意義を改めて見つめ直し、「最も身近な支援機関」として、また、地域全体の活性化を実現するためのコーディネーターとしても、その役割を果たして参る所存です。引き続き、ご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

<p>阿波池田商工会議所会報 2021年4月号</p> <p>URL ▶ http://cn02.awaikeda.net/~ikedacci/ E-mail ▶ ikedacci@cn02.awaikeda.net</p>	<p>令和3年4月20日発行 発行所 阿波池田商工会議所 〒778-0002 徳島県三好市池田町マチ2191-1 TEL (0883) 72-0143 (代) FAX (0883) 72-6466 印刷所 株式会社さくら印刷</p>
---	--